

各位

「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーン報告会開催について

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は、「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーンの活動にご高配を賜り、ありがとうございます。お蔭様をもちまして、本キャンペーンは平成17年にスタートしてから3年目がすぎようとしています。「認知症を知り 地域をつくる10カ年」の中間年（平成21年度）を間近に控え、その目標に向かって全国で着実にその成果が積み重ねられています。

本年度1年間の成果を確認し、今後のさらなる飛躍をめざすべく「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーン報告会を開催します。

敬具

「認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議」事務局
(認知症介護研究・研修東京センター内)

町が動き出しています。次の一歩をぜひ一緒に！

「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーン報告会

日時：2008(平成20)年3月1日(土)13:30～17:00(予定)

場所：全社協・灘尾ホール(東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル)

参加費：無料(参加登録をお願いします。定員になり次第、締め切らせていただきます)

プログラム：**第1部 第4回認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議**

(予定)

- ・キャンペーン活動報告—堀田力(100人会議議長、(財)さわやか福祉財団理事長)
- ・シンポジウム「動き出そう それぞれの立場で、今！～町の中で、認知症の人とともに暮らす～」
 - ◇映像でみる「町でともに暮らす」
 - ◇本人・家族からのメッセージ「いま何が必要か」
 - 佐藤雅彦氏/平成17年にアルツハイマー型認知症と診断される
 - 加藤芳郎氏/介護家族
 - 進行—永田久美子(認知症介護研究・研修東京センター主任研究主幹)
 - ◇座談会「動き出そう それぞれの立場で、今！」
 - 関 宣昭氏/NPO 法人 里山を考える会 代表(福岡県北九州市)
 - 安岡厚子氏/NPO 法人サポートハウス年輪 理事長(東京都西東京市)
 - 藪原幸子氏/沼田エフエム放送株式会社 チーフアナウンサー(群馬県沼田市)
 - 認知症サポーター/東京都立拝島高等学校 高校生
 - 進行—村田幸子(100人会議会員、福祉ジャーナリスト)

第2部 「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2007 発表会

- ・経過報告—長谷川和夫(町づくりキャンペーン実行委員長、認知症介護研究・研修東京センター長)
- ・「町づくり2007モデル」8団体からの活動発表 ※裏面参照

主催：認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議

「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2007実行委員会

*参加には登録が必要です。参加ご希望の方は、氏名(団体の場合は代表者名・人数)、連絡先(住所、電話、FAX、e-mailアドレス)を明記の上、下記にFAXまたはメールでご連絡ください。

「認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議」事務局

FAX: 03-3334-2415 E-mail: info@ninchisho100.net

■「認知症を知り 地域をつくる10カ年」について (平成17年4月厚生労働省資料より)

●認知症を知る1年—2005(平成17)年度

●「認知症を知り 地域をつくる10カ年」中間年—2009(平成21)年度

到達目標

- 認知症について学んだ住民等が100万人程度に達し、地域のサポーターになっている。
- 認知症になっても安心して暮らせるモデル的な地域(以下のような地域)が、全国各都道府県でいくつかできている。
 - ・認知症であることをためらいなく公にできる。(早期発見・早期対応)
 - ・住民や町で働く人々による(ちょっとした助け合い)が活発。
 - ・予防からターミナルまで、関係機関のネットワークが有効に働いている。
 - ・かかりつけ医を中心とした地域医療ケアチームがきめ細やかに支援している。
 - ・徘徊する人を町ぐるみで支援している。

●「認知症を知り 地域をつくる10カ年」—2014(平成26)年度

到達目標

認知症を理解し、支援する人(サポーター)が地域に数多く存在し、すべての町が認知症になっても安心して暮らせる地域になっている。

■「認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議」について

●平成16年12月より、従来の「痴呆」に替わる用語として「認知症」が使用され、これを機に厚生労働省の「認知症を知り 地域をつくる10カ年」の構想に基づく「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーンが平成17年度より展開されています。

●「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーンは、趣旨に賛同した各界有識者、企業団体、福祉団体を中心とする「認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議」(議長:堀田力(財)さわやか福祉財団理事長)によって推進されています。認知症介護研究・研修東京センターは事務局を務めさせていただいております。

■「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーンのおもな取り組み

●「認知症サポーター100万人キャラバン」による住民・職域・学校講座

(5年間で100万人の「認知症サポーター」を養成)

<http://www.caravanmate.com/>

●「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン

<http://www.dcnet.gr.jp/campaign/>

●認知症の人「本人ネットワーク」支援

(認知症の人本人と家族のネットワークづくりを応援)

<http://www.dai-jobu.net/>

●認知症の人や家族の力を活かしたケアマネジメントの推進

(認知症の人本人と家族によるケアプラン作り)

<http://www.itsu-doko.net/>

※詳しくは「認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議」ホームページをご覧ください。

<http://www.ninchisho100.net/>

(「認知症 100人会議」で検索してください)

●「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーンと「町づくり2007モデル」について

認知症介護研究・研修東京センターが事務局を務める「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーンは今年度で4回目を迎えました。「町づくり2007モデル」地域活動推薦委員会の慎重な検討の結果、今年度全国から寄せられた49の活動事例の中から今後のモデルとなる「町づくり2007モデル」8点が決定されました。

(応募先着順)

- 1)「認知症になっても安心して暮らせるマンション」 中銀インテグレーション株式会社 (東京都中央区)
- 2)「当たり前権利である地域行事・老人会への参加を目指して」
社会福祉法人 ふるさと会 グループホーム福寿の家 (高知県吾川郡いの町)
- 3)「教科 奉仕『認知症と地域について考える』授業」 東京都立拝島高等学校 (東京都昭島市)
- 4)「この町にこんな病院があったらいいな(地域にとけ込んだ認知症センターの取り組み)」
財団法人 豊郷病院 老人性認知症センター (オアシス) (滋賀県犬上郡豊郷町)
- 5)「おじいさん、おばあさん、いっしょにキャンプしませんか！認知症高齢者と楽しむ『あしがらシニアキャンプ』」
あしがらシニアキャンプ実行委員会 (神奈川県南足柄市・足柄上郡5町) /
社団法人 日本キャンプ協会 (東京都渋谷区)
- 6)「認知症の人と家族のつどいと支援者養成研修」
社団法人 認知症の人と家族の会富山県支部 (富山県富山市)
- 7)「若年性認知症デイサービス“おりづる工務店”の取り組み」
社会福祉法人 町田市福祉サービス協会 おりづる苑せりがや (東京都町田市)
- 8)「地域の認知症の拠点としてのグループホームの活動」
特定非営利活動法人 ほのぼの朝日ネットワーク (岐阜県高山市)

※上記8事例についての詳細は、ホームページをご覧ください。

ホームページでは、過去に応募いただいた事例もご覧いただけます。

※来年度(平成20年度)も引き続き、ご応募をお待ちしています。貴自治体の中でこのような活動がありましたらぜひお知らせください。詳しい要項が決まりましたらホームページでご案内します。

<http://www.dcnet.gr.jp/campaign/> (「町づくりキャンペーン」で検索してください)

The screenshot shows the website interface for the dementia campaign. The main banner reads "認知症の人が町で暮らす あなたの町の取り組みを ご応募ください". On the right, there is a vertical navigation menu with buttons for "TOP", "キャンペーンについて", "認知症の人の声", "実施要項", "応募のお申し込み", "応募用紙", "町づくり2007モデル決定", "町づくりキャンペーン実施要項のご案内", "過去のキャンペーン", "2004年度", "2005年度", "2006年度", and "過去の応募一覧". Below the menu, there are two callout boxes. The top one provides details for the "町づくり2007モデル決定" campaign, including the organizer (中銀インテグレーション株式会社) and the activity description. The bottom one lists "過去の応募一覧" (Past Campaigns) with a table of years and counts.

年度	応募件数
2004年度	11件
2005年度	11件
2006年度	24件